

スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2025」に認定

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、このたび、当社松阪事業所（三重県松阪市）における活動が、従業員の健康増進のためにスポーツ実施へ向けた積極的な取り組みを行っている企業として評価され、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2025」に2年連続で認定されましたので、お知らせいたします。



「スポーツエールカンパニー」とは、国民全体のスポーツ実施率向上を目指し、従業員への運動機会の提供や、健康増進のために積極的な取り組みを行っている企業の社会的評価の向上を目的として、スポーツ庁が創設した認定制度です。

当社グループは、経営 Vision「2029年住友理工グループ Vision」にて、3つの方向性の1つとして、「未来を開拓する人・仲間づくり」を掲げています。エンゲージメント向上に向けて、健康経営の考え方に基づいた「健康増進活動」「メンタルヘルス対策」「生活習慣病対策」といった活動を進めています。今後も従業員がいきいきと働き続けられる職場環境の整備に向けて、運動習慣づくりをはじめとした各種健康増進活動に取り組んでまいります。

<当社の主な取り組み>



運動講座の様子



ウォーキング×ゴミ拾い活動の様子

① 「運動講座」の開催

従業員が心身ともに元気に働ける環境をサポートすることを目的とし、運動指導士による「筋トレ」「ストレッチ」「ヨガ教室」を行い、従業員の運動不足やストレスの解消、社内コミュニケーション活性の場を提供しています。

② ウォーキング×ゴミ拾い活動

歩行活動の促進と地域・社会貢献を目的とし、事業所周辺での「ウォーキング×ゴミ拾い活動」を行っています。ゴミ拾いを行うことで、かがんだり、しゃがんだりといった、歩くだけではない運動が加わり、運動不足の解消にもつながります。

③ 体カテスト

従業員が安全で健康に働くため、転倒予防対策として、体カテストを実施し、転倒しない身体作りのための意識付けと運動能力向上支援を行っています。

<スポーツ庁 スポーツエールカンパニー2025>

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00195.html

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の製造用品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>